



# 日本の専門職の構造について

日本図書館情報学会シンポジウム  
「日本の専門職からみた図書館専門職養成の検討」  
(2013年3月16日、東京大学)

橋本鉦市  
(東京大学大学院教育学研究科)

# 概要

- I. 専門職(養成)の再検討
  1. 専門職養成の動向
  2. 専門職の定義
  3. 専門職養成と高等教育
  
- II. 養成プロセスと「量と質」
  4. 量と質のコントロール
  5. 養成プロセスと政策領域
  
- III. レジームとアクター
  6. 養成レジームの構造
  7. 市場における参入アクター

おわりに

# 1. 専門職養成の動向①

## ■ 大きな転換期にあるわが国の専門職養成

### ① 制度面：

- 専門職大学院
- 既存の養成プログラムの改編・改革
- 認証評価



養成プログラムの長期化・計画化・評価

# 1. 専門職養成の動向②

## ②教育内容面

- 理論と実践を架橋する米国型プログラムの提供
- モデル・コア・カリキュラム
- OSCE (客観的臨床能力試験)、CBT
- 「教職実践演習」
- 分野別質保証



現場での専門的業務にレリバントで標準化された  
教育内容・方法およびその評価を課す動き

# 1. 専門職養成の動向③

## ■ 方向性

- ① 養成プログラムの「長期化」
- ② カリキュラムの専門的市場との「レリバンス化・評価・標準化」
- ③ 専門職の量や質に関わる「計画化・管理化」
- ④ 国内外における「流動化」

# 1. 専門職養成の動向④

## ■背景

- ①「専門職コンピテンシー」養成プログラムの要求・要請とその評価
- ②市場のニーズの把握と計画的な供給の必要性
- ③専門職養成を取り巻く様々なアクター(ステークホルダー)の関与・介入
- ④アクターの多様な意図と恣意の複層性

## 2. 専門職とは①

### ■4つの要件

専門職論の嚆矢 (Carr-Saunders & Wilson (1933) )

- ①長期の訓練によって獲得された専門的技術の存在、②特別の責任感情と倫理綱領の存在、③結社の形成、④給与形態をとる固定報酬制の採用要件



### ■「専門職化」

- ①当該職業の全日制化の程度、②フォーマルな長期間の養成プログラム、③全国的なアソシエーション(団体)、④法的な免許・資格制度、⑤倫理綱領などの有無



### ■「自律性」(Freidson 1970=1992、進藤1990)

## 2. 専門職とは②

### ■既存の専門職概念Professionalismの揺らぎ

#### ①モデルへの批判

アングロ・アメリカン的な経験則に偏向との批判→国家との協同・共謀を旨とする大陸モデル (Jarausch (1983=2000), Collins 1990, McClelland (1991=1993))

#### ②脱専門職化 (De-professionalization) と下層降下 (Proletarianization) の趨勢 (Haffettry and Mackinlay 1993)

#### ③新しいモデル

知的職業人としての専門職の共通項に注目した緩い定義 (Abbott 1986, 1988)

## 2. 専門職とは③



### ■ 広義の定義付けが有用

Ben-David (1977=1982)

「高度に専門化した分野を基盤とする職業に限定するよりも、はるかに幅広」な視野にたち、「その職への就職が高等教育機関からの卒業証書を有する者に限られている職業のすべてを指す」



### ■ 養成プログラムとしての「高等教育(機関)」に着目

## 3. 専門職養成と高等教育①

### ■「高等教育」レベルにおける専門職養成プログラムの存否と特徴

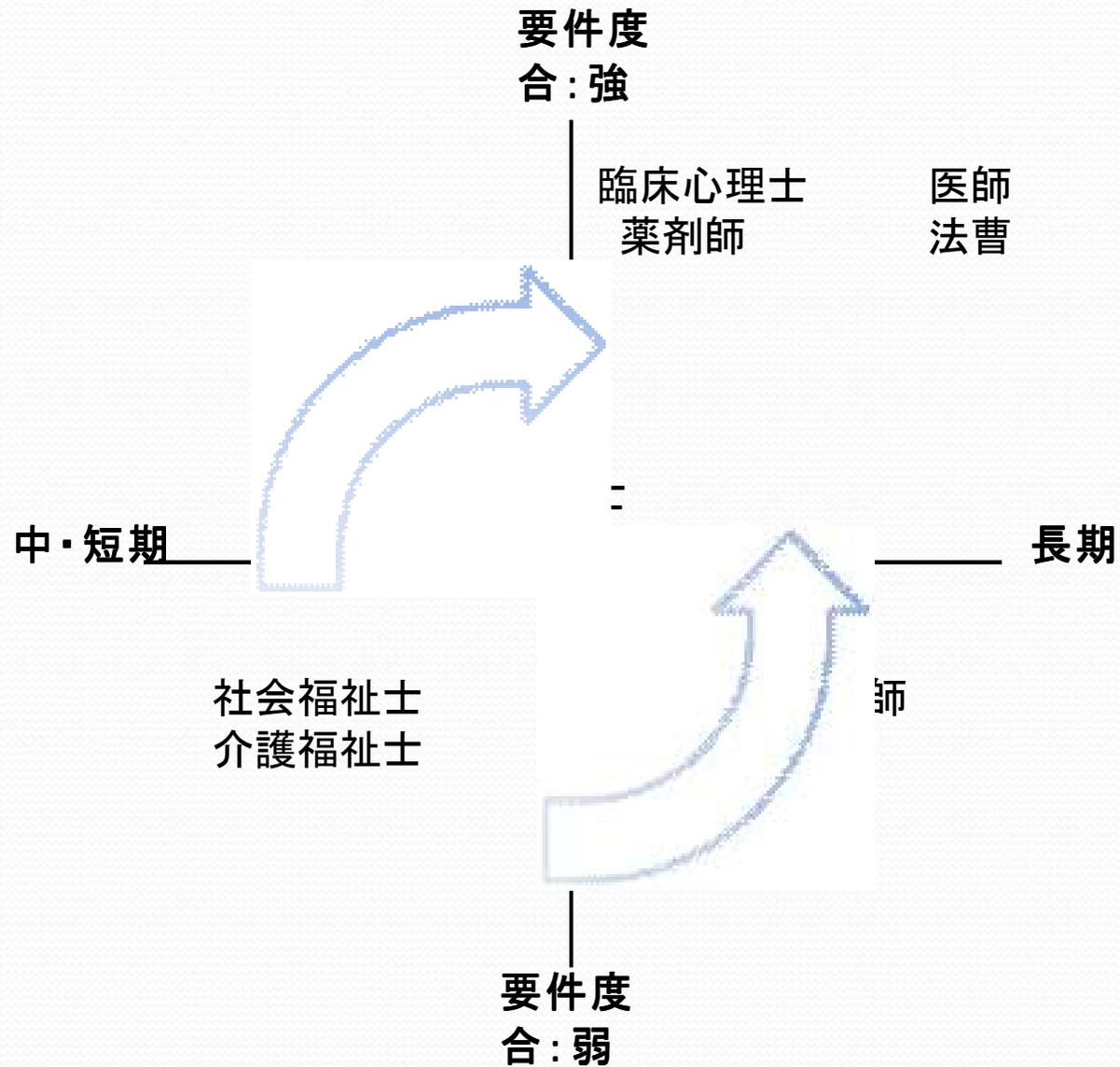
- ・「高等教育」レベルの養成プログラムを有しているか否か
- ・プログラムの持つ特徴による専門職化の度合い



### ■現代的な指標

- ①専門(職)教育プログラムの「期間の長さ」
- ②専門(職)教育プログラムの市場参入時の「要件の度合い」

# 3. 専門職養成と高等教育②



### 3. 専門職養成と高等教育③

■教育プログラムの期間が長く、かつそのプログラムの市場参入に対する要件が強いほど、専門職化が進展

第1象限：成熟した専門職のプロトタイプ

ex. 医師、法曹

第3象限：専門職化の途上

ex. 社会福祉士・介護福祉士

### 3. 専門職養成と高等教育④

#### ■現状の再検討

- 養成期間の長期化
- 参入要件の強化、閉鎖化、非弾力化、計画化



#### ■様々な職種が第1象限にシフト



#### ■その動向の正否

- 顧客、養成プログラムの内容、コスト、ニーズ・・・

## 4. 「量」と「質」のコントロール①

第1象限の専門職養成は常に成功してきた(いる)か？



- 常に問われてきた(いる)もの
  - 「量(数)」と「質」およびそのバランス
  - = 「適正」な供給量と品質

## 4. 「量」と「質」のコントロール②

### ■「量」と「質」のトレードオフ関係

- ・予定調和的にバランスがとられるのではない



### ■いかなるアクターがどのような戦略・ロジックによってイニシアティブをとるのか



### ■養成プロセスの各段階での力学

## 5. 養成プロセスと政策領域①

### ■現代専門職養成の一連のプロセス(3段階)

①高等教育:入学選抜→専門準備教育→専門教育→実習→卒業試験

②資格試験:国家試験等などによる評価・選抜・認定)

③研修制度:現場・施設での採用・研修・より高次の資格取得・生涯学習



### ■各々の段階で、「量」と「質」のコントロール

## 5. 養成プロセスと政策領域②

### ■ 高等教育機関における「量」と「質」のコントロール

#### ①「量(数)」

入学(=入口)と卒業(=出口)でコントロール



わが国では、出口管理は現実的に機能せず  
=実質的には入口コントロールがメイン

#### ②「質」

3つの手段:旧来的な事前評価(①設置基準、②設置認可)と事後評価(③2004年度から実施:認証評価)



専門教育のカリキュラム編成(教育内容、教育方法、評価方法)  
に焦点化

## 5. 養成プロセスと政策領域③

### ■資格試験でのコントロール

#### ◆国家試験

- ・合格者数－新規参入者を管理
- ・試験問題内容－必要とされる知識・スキルの設定

### ■専門職市場での研修・修習システム、各キャリア段階でのコントロール

#### ◆より高次の認定資格

#### ◆人員配置計画 など

# 5. 養成プロセスと政策領域④

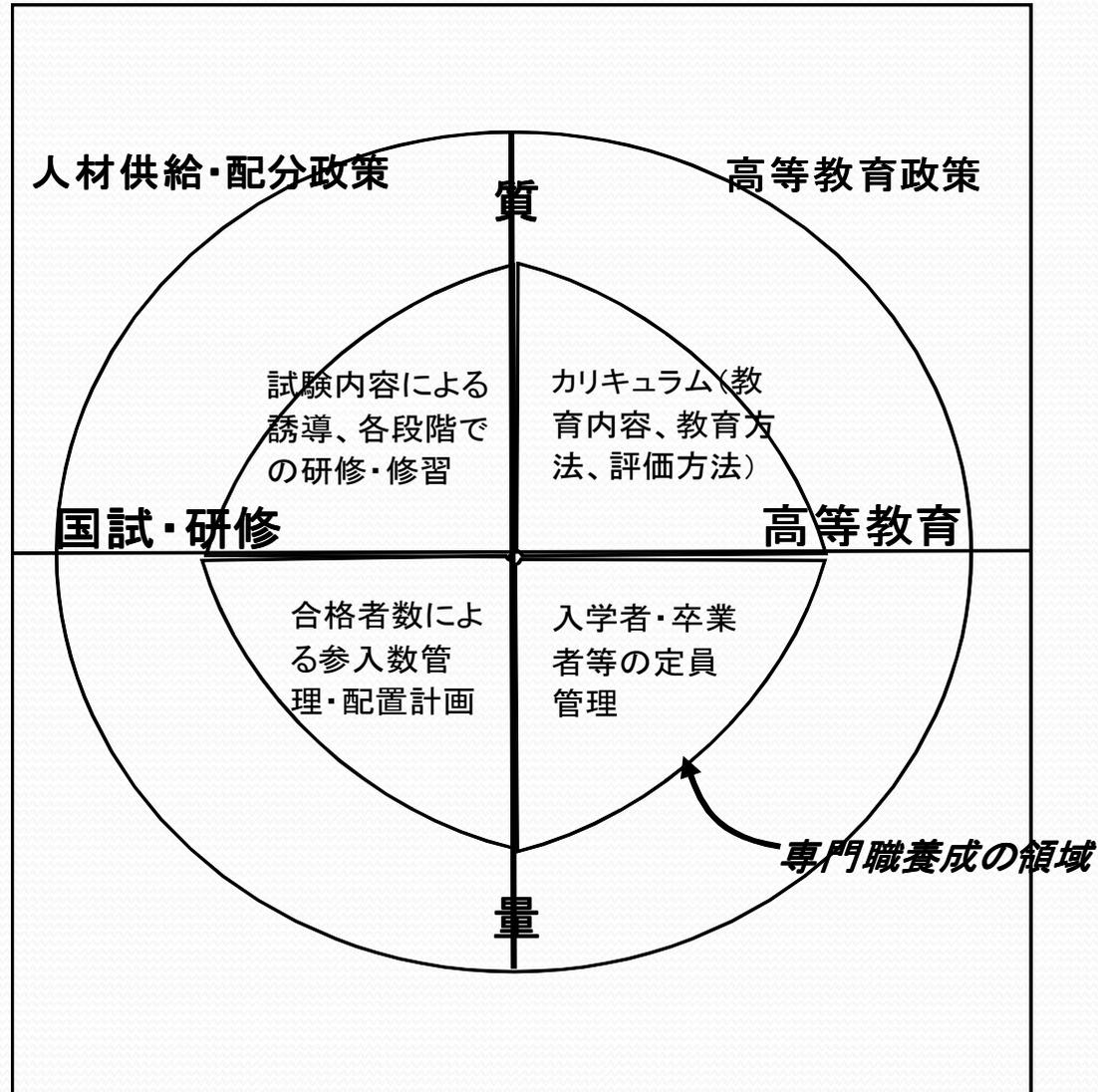
労働政策領域

教育政策領域

## ■ 専門職養成の 質と量をめぐる 政策領域

①「量—質」

②「高等教育—資格試験・研修」



## 6. 養成レジームの構造①

### ■ 専門職養成の領域

- 教育と労働という政策アリーナの交差する領域



- 「高等教育政策」と「人材供給・配分政策」の双方に包摂



### ■ 様々なアクターが関与・介入

- 誰がどのようなロジックでコントロールするのか

## 6. 養成レジームの構造②

### ■ 多種多様なアクター→3つのセクターに大別

① 国家(政府)セクター

② 高等教育セクター

③ 市場セクター



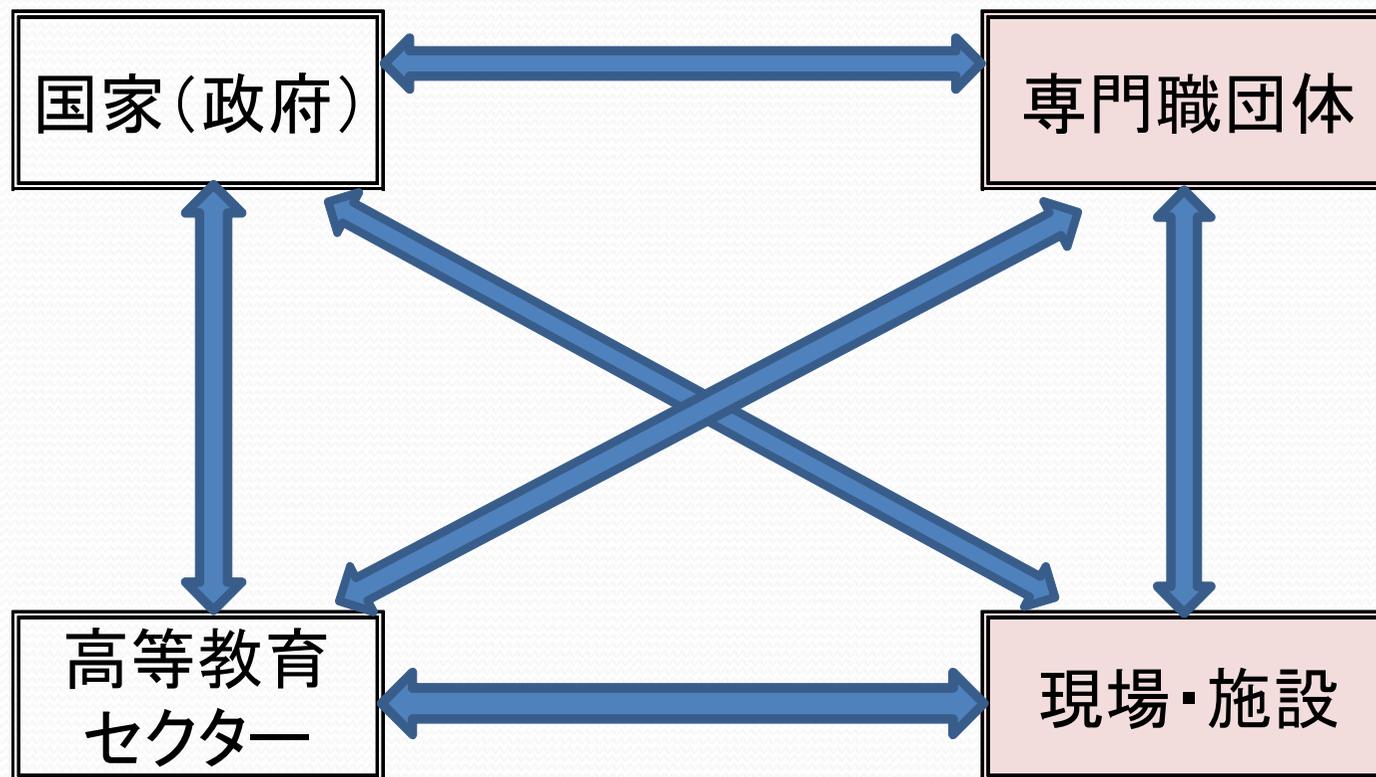
### ■ 上記3つのセクターから構成される3角形

= 専門職養成の「レジーム」

• 専門職養成にかかわるアクター群の政治権力的な体制

## 6. 養成レジームの構造③

### ■3角形から4角形へ:「市場セクター」の内訳



## 7. 市場における参入アクター①

### ■ 専門職団体の役割

#### ・養成レジームの牽引役

① フランス型 = 国家主導

② イギリス型 = 専門職団体主導

③ 合衆国型 = プロフェッショナル・スクール (大学)

がイニシアティブ (Siegrist, H., 1994)



### ■ 日本では「専門学会」や「中間団体」も同じ機能か

## 7. 市場における参入アクター②

### ■「現場・施設」

#### ・市場主義的・消費主義的な趨勢

→ 専門職コンピテンシーに対する顧客・クライアントのニーズの多様化、コスト面・効果面などでの改善要求の高まり

#### ・現代の(日本の)専門職の基本的な形態

病院、ファーム、各種施設、大学、学校などの「施設＝箱物」勤務(「箱物専門職」)



新規参入の際の施設側の意図・思惑

＝「現場・施設」の様々なアクターとロジックが専門職の「量」「質」双方を左右

# おわりに

## ■ 専門職養成の現代的課題

- 高等教育機関における養成プログラムの意義

- ①「学」の体系性とカリキュラム

- ②修了証と市場参入要件

- 「量」と「質」コントロールのアクターとロジック

- ①他の隣接職種

- ②専門職化プロジェクトのモデル

- 「現場・施設」の重要性

- ①学会

- ②箱物専門職

# 注および引用文献

上記発表資料の記述・データ・資料などは、橋本編(2009、2012)ならびに橋本(2012、2013)を大幅に筆耕・修正・加筆したものである。

(和文)

橋本鉦市、2008、『専門職養成の政策過程』学術出版会

橋本鉦市編、2009、『専門職養成の日本的構造』玉川大学出版部

橋本鉦市編、2012、『日本的な専門職コンピテンシー抽出と質保証システム構築のための横断的分析』(2009～2011年度科研費補助金最終報告書)

橋本鉦市、2012、「専門職養成と高等教育」『社会福祉研究』第115号、65-72頁

橋本鉦市、2013、『わが国の専門職養成をめぐる動向と課題』(名古屋大学高等教育研究センター第64回客員教授セミナー(2013年1月8日))

中野秀一郎、1981、『プロフェッションの社会学』木鐸社

進藤雄三、1990、『医療の社会学』、世界思想社

吉田文・橋本鉦市、2009、『航行をはじめた専門職大学院』東信堂

# 引用文献

(英文)

- Abbott, A., 1986, "Jurisdictional Conflicts," *American Bar Foundation Research Journal*, pp.187-224.
- Abbott, A., 1988, *The System of Professions*: The University of Chicago Press.
- Ben-David, J., 1977, *Center of Learning: Britain, France, Germany, United States*, New York: McGraw-Hill (=1982, 天城勲監訳『学問の府: 原点としての英仏独米の大学』サイマル出版会)
- Carr-Saunders, A. M. & P. A. Wilson, 1933, *The Professions*, Oxford University Press.
- Clark, B. R., 1983, *The Higher Education System: Academic Organization in Cross-National Perspective*, University of California Press. (=有本章訳『高等教育システム: 大学組織の比較社会学』東信堂. 1994年)
- Collins, R., 1990, 'Changing Conceptions in the Sociology of the Professions', R. Torstendahl and M. Burrage eds., *The Formation of Professions: Knowledge, State and Strategy*, London: Sage Publications, pp.11-23.
- Esping-Andersen, G., 1990, *The Three Worlds of Welfare Capitalism*, Polity Press. (=岡沢憲芙・宮本太郎監訳『福祉資本主義の三つの世界－比較福祉国家の理論と動態』ミネルヴァ書房, 2001年)
- Esping-Andersen, G., *Social Foundations of Postindustrial Economies*, Oxford University Press. 1999 (=渡辺雅男・渡辺景子訳『ポスト工業社会の社会的基礎－市場・福祉国家・家族の政治経済学』桜井書店. 2000年)
- Freidson, E., 1970, *Professional Dominance: The Social Structure of Medical Care*, New York: Atherton Press Inc. (=1992, 進藤雄三・宝月誠訳『医療と専門家支配』恒星社厚生閣.)
- Hafferty and Mackinlay eds., 1993, *Changing Medical Profession*, New York: Oxford University Press.
- Jarusch, K. H. ed., 1983, *The Professionalization of Higher Learning 1860-1930*, Stuttgart: Klett-Cotta. (=2000, 望田幸男・安原義仁・橋本伸也監訳『高等教育の変貌1860-1930－拡張・多様化・機会開放・専門職化』昭和堂.)
- McClelland, C. E., 1991, *The German Experience of Professionalization: Modern Learned Professions and their Organizations from the Early Nineteenth Century to the Hitler Era*, New York: Cambridge University Press. (=1993, 望田幸男監訳『近代ドイツの専門職－官吏・弁護士・医師・聖職者・教師・技術者』晃洋書房.)
- Siegrist, H., 1994, "The Profession, State and Government in Theory and History," Becher, T. ed., *Governments and Professional Education*, Open University Press.

ご静聴ありがとうございました